

△徳島 志村一義 行状書 徳島県立第一中学校 全日本に於ける教育の発展を期すべく教育してあるか
口答、山口常太郎 十七号読書で審判したい。

△徳島、有本勇 下の読書で全目的にするために各地方組合員と協力して教育してあるか
口答 伊藤隆正 勿論である。

△徳島 永尾政保 裁判闘争のことが判明してあるが本誌では如何に見るか
口答 山口常太郎 現時の世相からいって合致見解があるが、教育の発展を期するに於ける教育の発展は

斗争力のある所では、それ程の力がある、教育の発展は、
△徳島 青野真吾 争訟却避の目的に地方持株事情の改善を期す。また、

口答 又下本 警察が特にウルサイから、これをヨク々直接資本家に言っている。
口答 植田重義、雇傭工工場では、雇傭工の干渉が非常に目立っている。未だ。警察が租税徴収のため

の圧力、スバイを作つて盛んにオルグの引き抜きをせつてゐる。
△徳島 青野真吾 イニシの影響に就いてお尋ねしたい。

口答 植田重義、大工場に於ては、労働者化が行はれてゐる。
口答 大森種一 関西の雇傭工工場では、解雇手当てが、取れぬため臨時雇を使用し、殊業

或は請負の労働者で、本誌の値上げは、なほ労働者にして、今までの失業
生活でイニシ斗争意識が低い。これは、工場は、雇傭工可能だ。各自の立場で

は、斗争意識が、高まり、表業等、動員困難。
△徳島 青野真吾 不平爆発の事態をお尋ねしたい。

口答 植田重義 本誌に於て、いかに、更だか臨時工の間に思まつてゐる。本誌には、多くの収入増の

のために不平は少ない。

△徳島 青野真吾 イニシ斗争は、意識的か、実感的か
口答 南道三 教育方面から来た意識的であった。

口答、大森種一 租税徴収に於ては、教育により、計画的であった。
口答 永尾政保、賃金と収入のバランスから来る実感

口答、森田勲三郎 演説会が、イニシした。
△徳島 青野真吾 臨時工の賃金、取上げについておたづねしたい。

口答 山口常太郎 取上げ、稼働工を、人名義者、入札増収の傾向
△徳島 青野真吾 イニシ斗争は、同盟の指令に依つたものである。

口答 北佐佐木 地方は、同盟の指令に依つて活動した。
地方は、大衆的行動は、不活発であった。斗争は、租税徴収にて止めたが、勿論同盟の

指令に依つてゐる。
△徳島 又下本 地方の斗争は、都心に依つて、受ける影響が、多いため、たゞ、参考資料、賃金、

は、労働者(イニシ)を送つてほしい。
口答 植田重義 東京地方は、同盟の指令に依つて、演説会、ボスター等の、イニシの、飛脚であった。

口答 大森種一 大森は、凡ての斗争を通じて、イニシ教育とした。
口答 台佛太郎 大森では、イニシに、反感であつて、金の在野会を、知財権を、中心として、イニシ

手廻り、本誌、在野会は、租税の、増収前に、用進した。
△徳島 青野真吾 イニシを通じて、得た新戦術を、お尋ねしたい。